

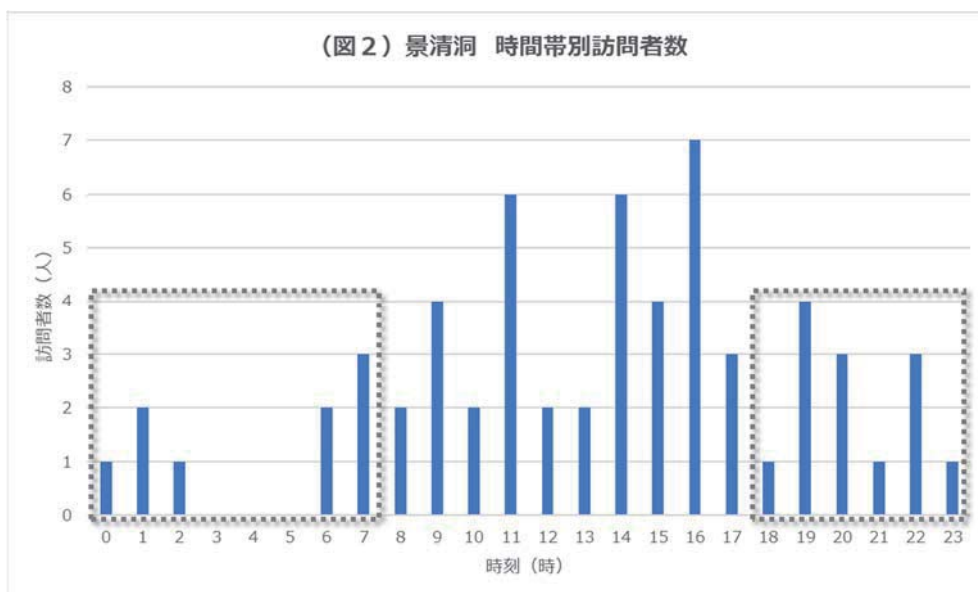
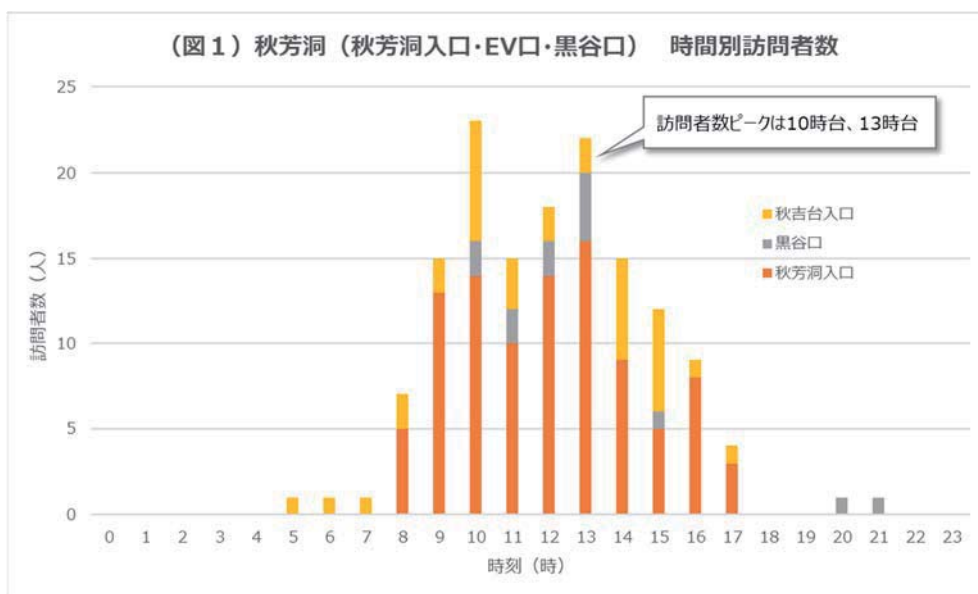
2-4. 主要三洞窟における時間帯別観光客訪問特性

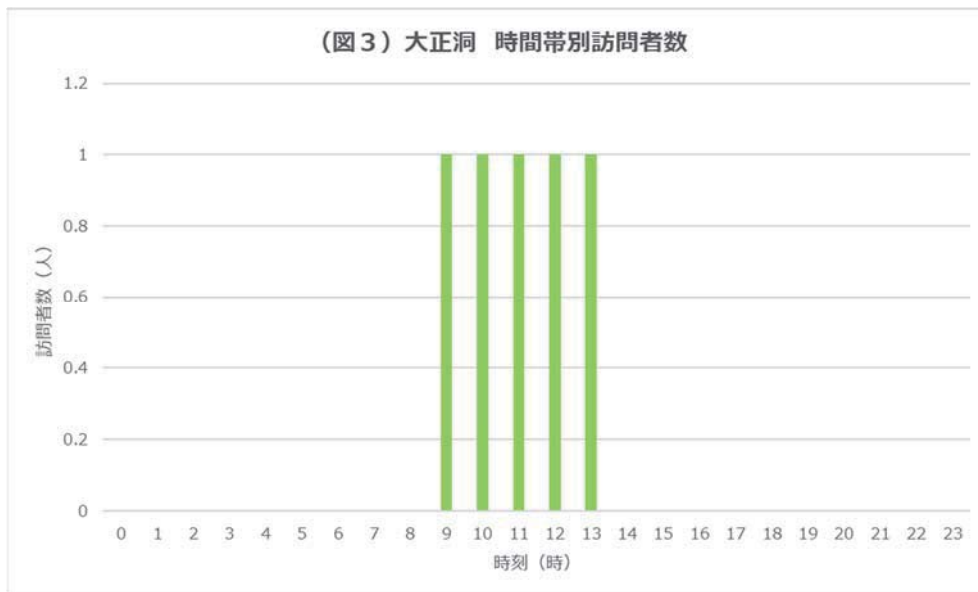
主要三洞窟（秋芳洞、景清洞、大正洞）について、時間帯別の観光客訪問特性（調査対象期間集計値）を以下に示す。

秋芳洞周辺は、図 1 に示す通り、10 時について 13 時が最も訪問者数が多い時間帯であり、秋吉台地域を訪れたらまず秋芳洞へ向かう観光客が多いことがみとれる。おそらく団体ツアー等のプログラム等も影響していると考えられる。

一方景清洞周辺は、図 2 に示す通り、16 時が最も訪問者数が多い時間帯であり、11 時、14 時がそれに続く。また特徴的なのは、18 時台から 8 時台までの時間帯にある一定の訪問者数が見て取れる。洞窟の入洞時間帯ではないことから、隣接するリフレッシュパークの利用客の滞在ログが結果に影響していると考えられる。リフレッシュパークとの連携をより強め、景清洞独自の魅力を高めるためには、夜間や早朝であることを活かした洞窟体験等も十分に可能性がある。

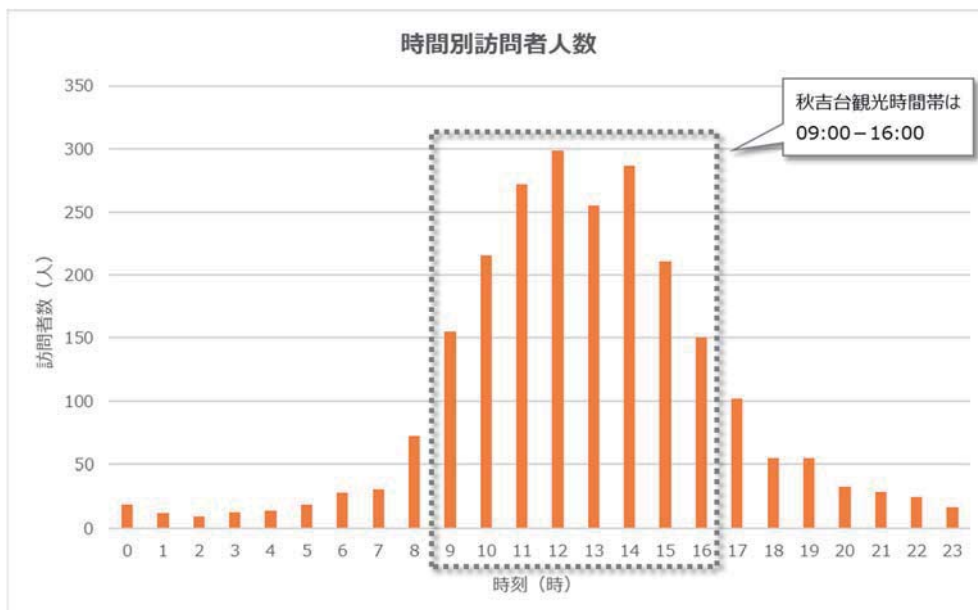
大正洞は、図 3 に示す通り、9 時から 13 時まで、毎時間 1 人ずつの訪問者数であった。認知度、体験内容の訴求力共に、抜本的にあり方を検討すべきと考えられる。





2-5. 秋吉台地域における時間帯別観光客訪問特性

秋吉台地域における、時間帯別の観光客訪問特性（調査対象期間集計値）を以下に示す。地域内における観光主要時間帯は9時～16時であることがみてとれる。12時が最も訪問者数が多い時間帯であり、11時、14時がそれに続く。秋芳洞入場者数のピークが10時、13時であることから、多くの観光客が秋芳洞観光を終えた後に、秋吉台や周辺地域に移動し周遊をする行動パターンが推測できる。



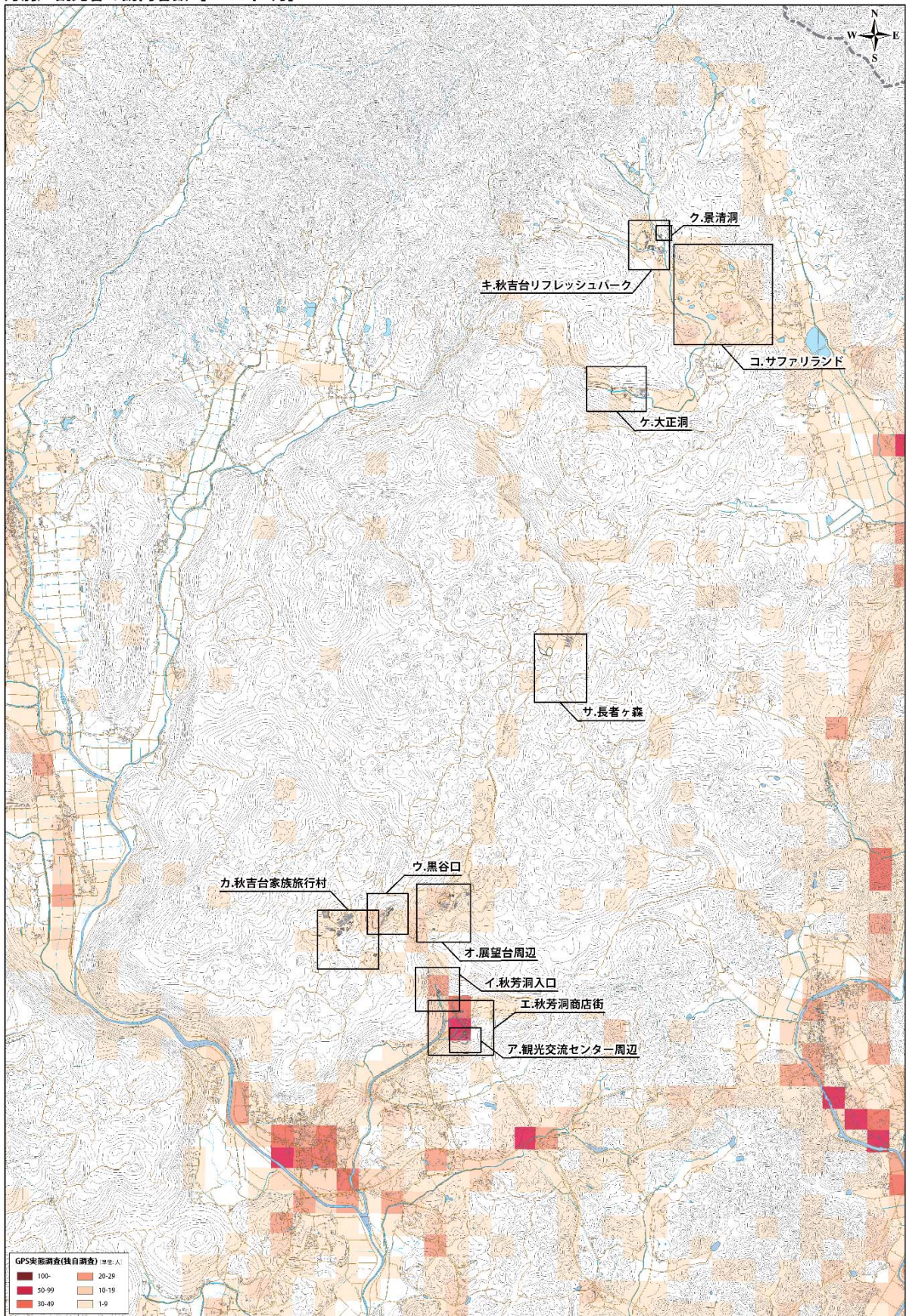
2-6. 秋吉台周辺における月別訪問者数・平均滞在時間

秋吉台周辺※における月別の各スポットの訪問者数、平均滞在時間の推移を集計し、地図上に濃淡をつけ、ヒートマップとしてビジュアライズした。なお、集計は、200m 区画ごととしている。そのため、箇所によっては複数施設にまたがることも想定される。訪問人数、平均滞在時間のヒートマップにおける凡例は下記となる。

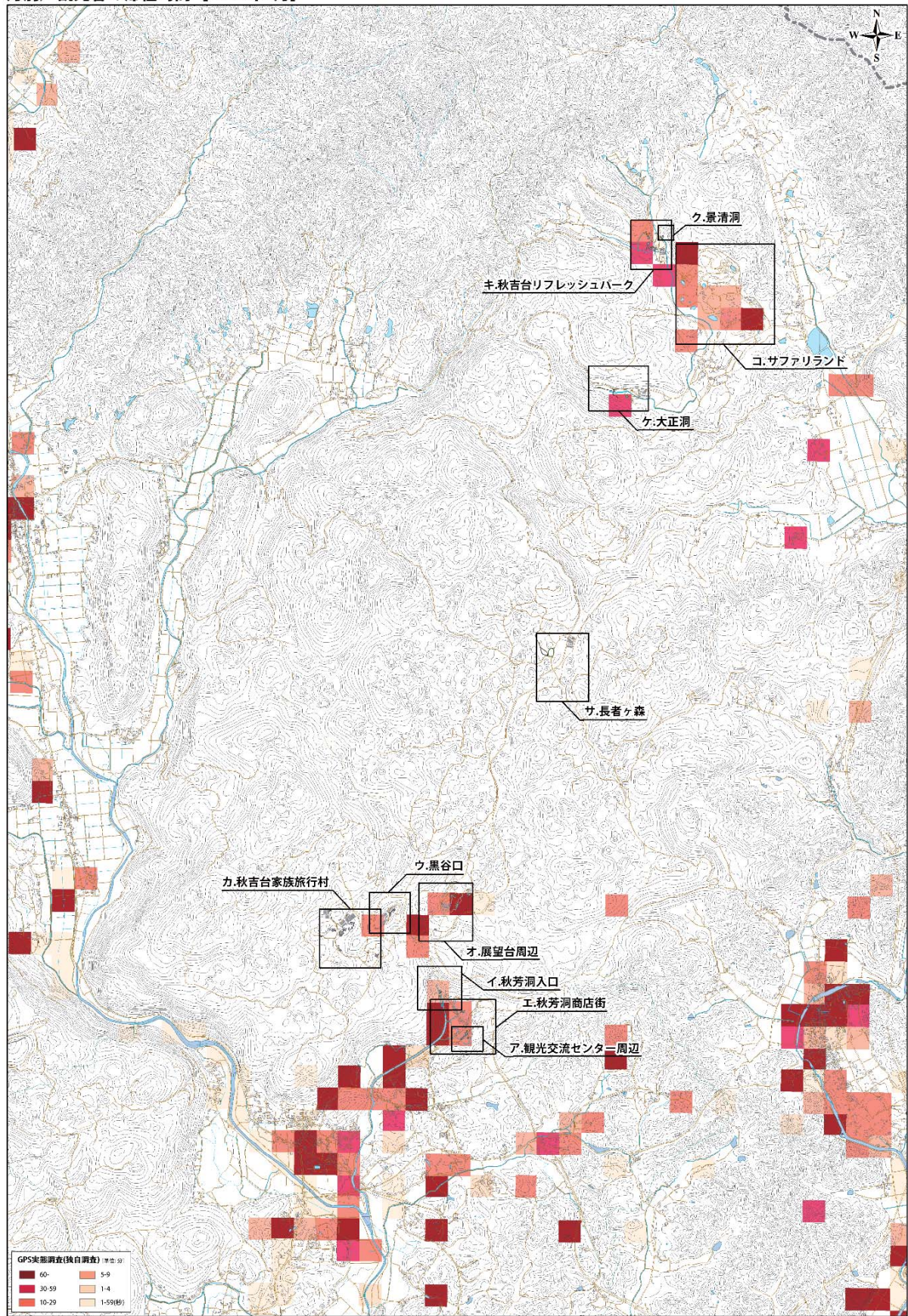
※秋吉台地域、美祢市内における秋吉台周辺地域を指す。2-6、2-7 共通。

- 2018年2月：集計対象者 3,501 人
秋芳洞はじめ、主要観光スポットの滞在時間は長いものの、秋吉台は、カルスト展望台周辺に訪問・滞在が限定される。
- 2018年5月：集計対象者 9,165 人
主要観光スポットほか、カルストロード沿いに、長者が森周辺含めて、滞在時間の長いエリアがみられる。また、リフレッシュパーク、景清洞周辺の訪問人数が増加している。
- 2018年6月：集計対象者 3,730 人
カルストロード沿い及びリフレッシュパーク周辺の訪問がみられるものの、滞在時間は5月と比較して減少している。
- 2018年8月：集計対象者 7,578 人
5月と比較して、秋吉台展望台・科学博物館周辺の滞在時間が増加している。一方、リフレッシュパーク、景清洞周辺の訪問は人数は5月から、やや減少している。

月別／観光客の訪問者数 [2018年2月]



月別／観光客の滞在時間 [2018年2月]



出典：国土交通省GISデータ

月別／観光客の訪問者数 [2018年5月]

